

▼ソメリン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ハロキサゾラム haloxazolam 【分類】 睡眠導入剤 [BZ系・長時間型]

【単位】 ▼5mg・▼10mg/錠

【常用量】 5～10mg/日

【用法】 寝る前

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【その他の報告】 腎障害のある患者は慎重投与 [一般に排泄が遅延する傾向があるので、薬物の体内蓄積による副作用の発現に注意] (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【その他の報告】 腎障害のある患者は慎重投与 [一般に排泄が遅延する傾向があるので、薬物の体内蓄積による副作用の発現に注意] (1)

【特徴】 ベンゾジアゼピノオキサゾール誘導体の長時間作用型睡眠導入剤。

【主な副作用・毒性】 依存性、呼吸抑制、炭酸ガスナルコーシス、一過性前向き健忘、もうろう状態、ふらつき、めまい、頭痛、肝機能障害、血球減少、倦怠感、脱力感、消化器症状など。本剤の影響が翌朝以降に及ぶことがあるので自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意。

【F】 資料なし (1)

【tmax】 未変化体は速やかに代謝され、活性代謝物のNo.574は4hr、さらに水酸化の進んだ活性代謝物No.609は12hr以降 (1)

【代謝】 酸化されNo.574となり、さらにNo.609やM-1などに水酸化され、尿中には主に抱合体として排泄 (1) 活性代謝物はNo.574, No.609, マウスモデルでの薬理活性はNo.574, No.609, ハロキサゾラムの順に強い (1)

【排泄】 尿中回収率15% [po, 72hr まで] (1) 活性体としての尿中回収率は3%程度で、主に代謝物の抱合体として尿中に回収 (1)

【CL】 資料なし (1)

【t1/2】 42～123hr (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 377.21

【透析性】 資料なし (1)

【TDM のポイント】 血中濃度の変化と作用は一致しない (1)

【OW 係数】 4.1 [1-オクタノール水系, pH6.8] (1) 【pKa】 6.18

【相互作用】 中枢神経抑制剤と併用注意 (1)

【更新日】 20151126

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。